

1.はじめに

仮想マシンのシャットダウンにACPI（Advanced Configuration and Power Interface）を利用しているケースがあります。ACPIシャットダウンは物理マシンの電源ボタンを押す場合と同等の操作で、この操作により通常OSは正常シャットダウンされます。OSの種類によらず動作するため、LinuxやWindows等いずれの仮想マシンでもシャットダウンが可能です。しかし、特に以下の状態のWindows OSでは、想定通りにシャットダウンしないケースがあります。

- ・スクリーンセーバー状態になっている
- ・スリープ状態/画面電源OFF状態になっている
- ・電源ボタンによるシャットダウンが有効化されていない
- ・ロック状態になっている/編集中のファイルが存在する

関連する以下のWindows OS電源設定を変更することで、シャットダウンを実施することが可能です。記載する2.～5.の設定をそれぞれ実施いただくことで、ACPIによるシャットダウンが常に実施できるようになります。

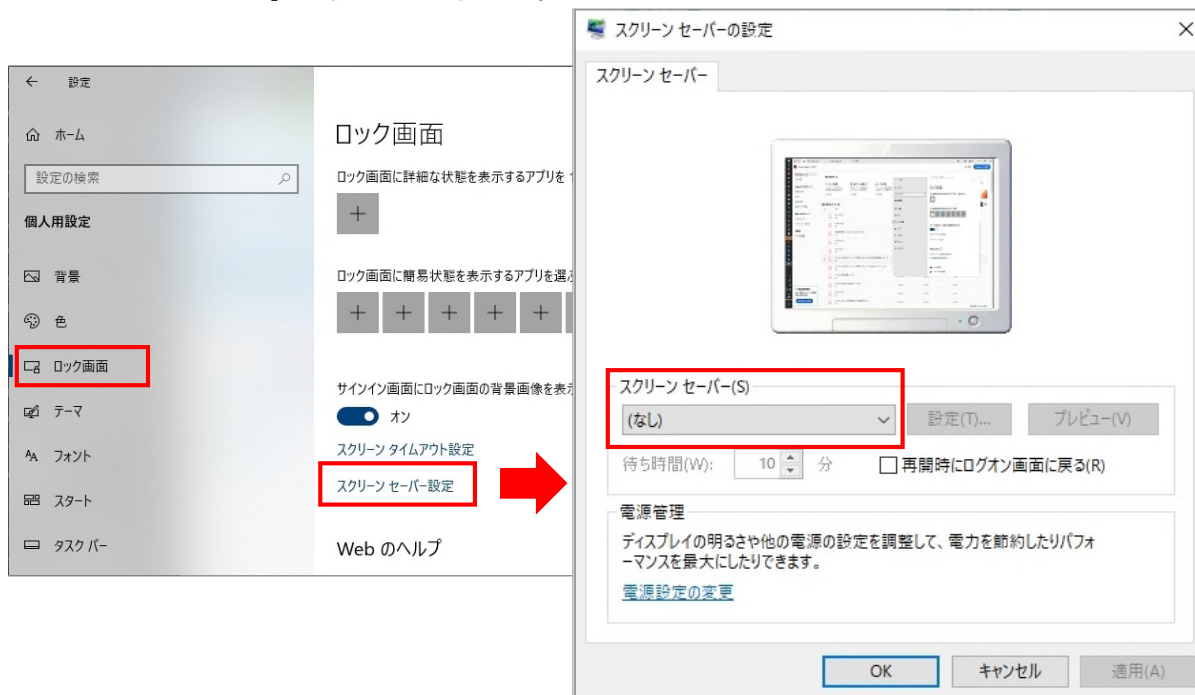
また、一部のバージョンのUbuntuでは、追加の電源設定が必要なケースがあります。Ubuntuを仮想環境で利用している場合は6.の設定を参考ください。

2.スクリーンセーバーの無効化

スクリーンセーバーが有効になっている場合、ACPIによる電源制御指示を受信したときスクリーンセーバーが停止して画面が表示されるだけで、実際のシャットダウンは実行されません。以下の手順でスクリーンセーバーを無効化して、常にシャットダウンが実行されるように設定します。

「設定」→「個人用設定」→「ロック画面」→「スクリーンセーバー設定」を開きます。

スクリーンセーバーを「なし」に選択してOKを選択します。



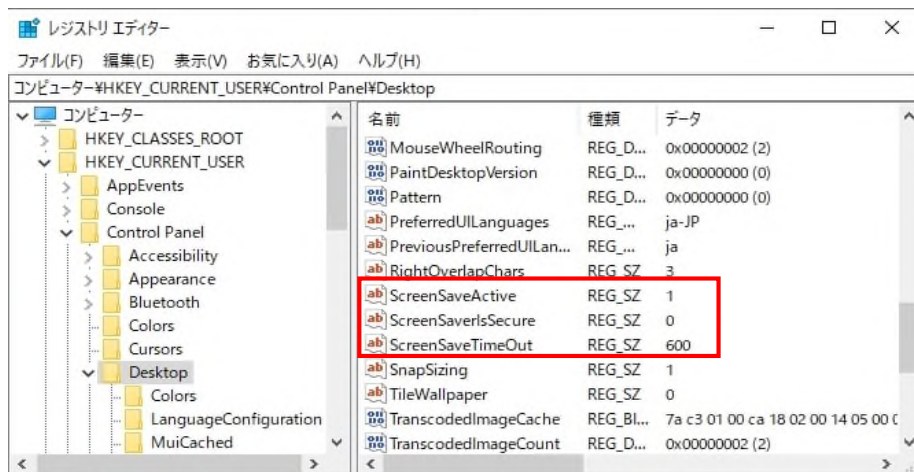
レジストリエディタを使用してスクリーンセーバーを無効化する場合は、以下の名前の値を削除します。

HKEY_CURRENT_USER\Control Panel\Desktop以下：

ScreenSaveActive

SCRNSAVE.EXE

ScreenSaveTimeout



もしくは、以下のコマンドをコマンドプロンプトから管理者権限で実行することでも削除可能です。

```
reg delete "HKEY_CURRENT_USER\Control Panel\Desktop" /v "ScreenSaveActive" /f
```

```
reg delete "HKEY_CURRENT_USER\Control Panel\Desktop" /v "SCRNSAVE.EXE" /f
```

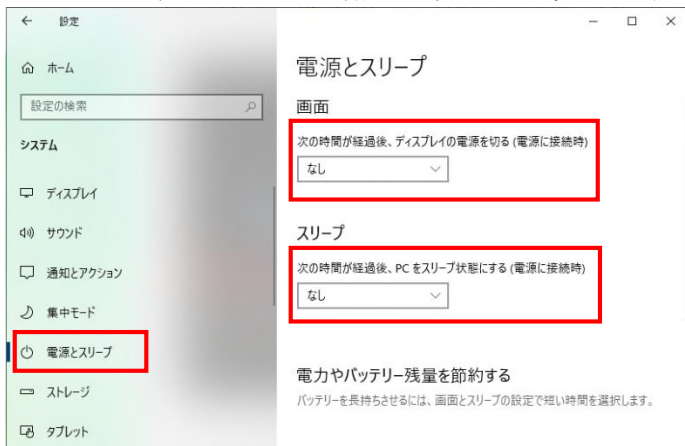
```
reg delete "HKEY_CURRENT_USER\Control Panel\Desktop" /v "ScreenSaveTimeout" /f
```

3.一定時間経過によるディスプレイの電源OFF無効化

Windows OSでは、一定時間経過でディスプレイの電源OFF/スリープする設定が標準で有効となっています。ディスプレイの電源がOFFの状態ではACPIシャットダウンを受け付けると、実際にはシャットダウン実施されずディスプレイの電源がオンになるだけの動作となります。

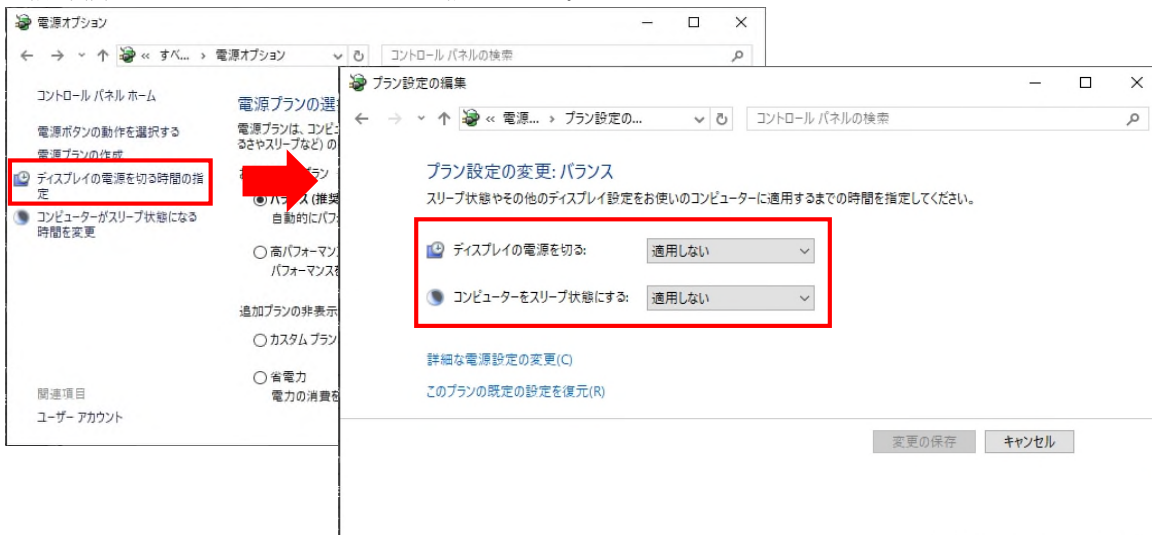
これを抑止するために、「設定」画面の「電源とスリープ」から電源OFF設定を無効化する必要があります。

※サーバOSでは、ディスプレイの電源設定のみ表示されます。スリープ設定は表示されません。



もしくは、コントロールパネルの「電源オプション」の「ディスプレイの電源を切る時間の指定」から時間を「適用しない」に設定してください。

※設定画面かコントロールパネルのいずれかから設定ください。

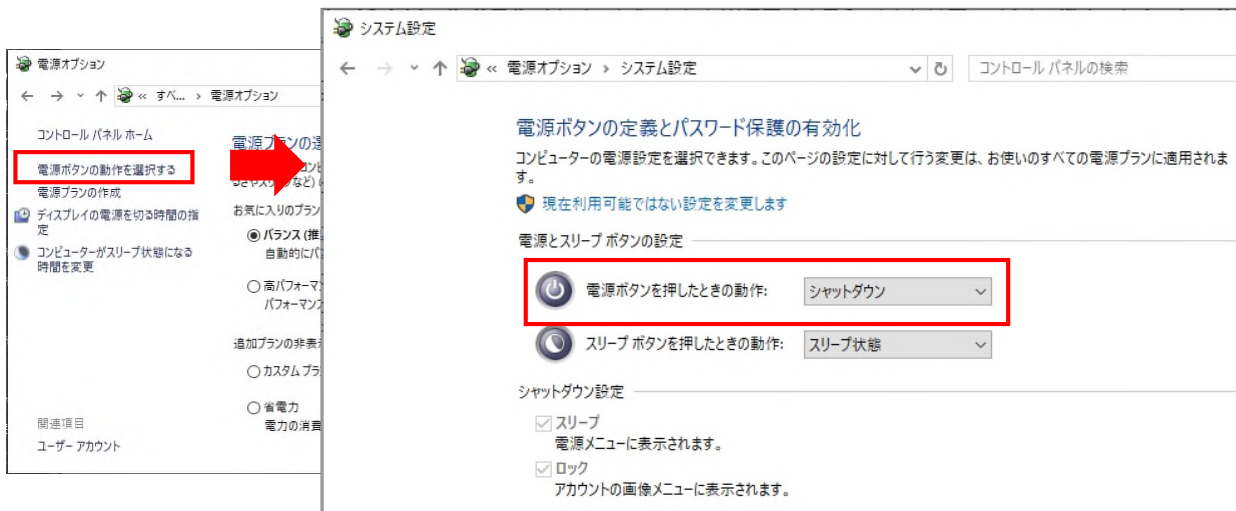


4.電源ボタンによるシャットダウンの有効化

ACPIシャットダウンが動作するように、電源ボタンを押したときの動作を設定します。

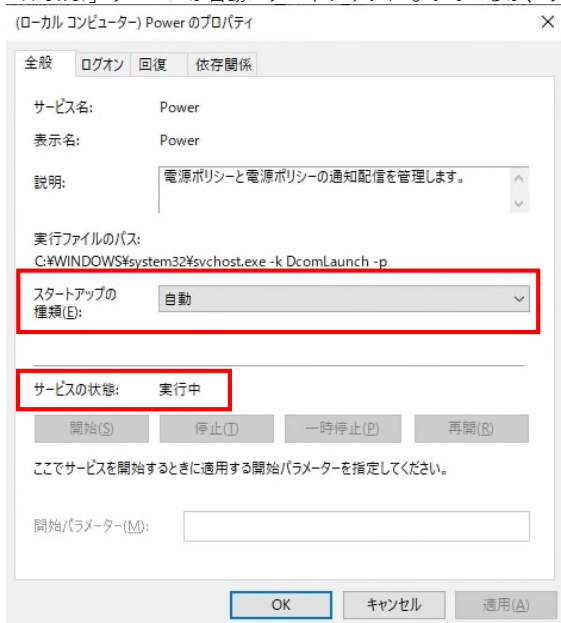
「コントロールパネル」→「電源オプション」→「電源ボタンの動作を選択する」を開きます。

「電源ボタンを押したときの動作」として「シャットダウン」を選択して設定を保存します。



もし電源ボタンの設定が無効になっており変更できない場合、

「Power」サービスが自動スタートアップになっているか、サービスが実行中かどうか確認ください。



5.画面ロック中の強制シャットダウンの有効化

Windows OSは、ロック状態ではACPIによるシャットダウンを実施することができません。

ロック状態のWindowsを強制的にシャットダウンを実行するためには、OS上で電源設定を変更する必要があります。

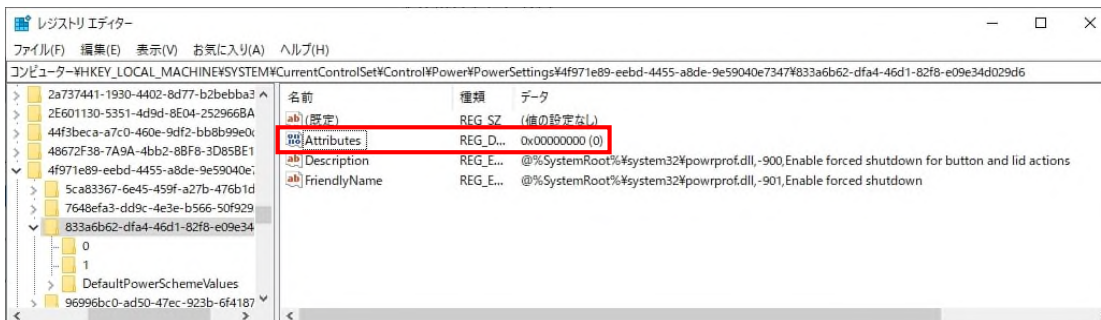
設定項目を表示するために、コマンドプロンプトで管理者アカウントから以下のコマンドを実行します。

```
powercfg -attributes SUB_BUTTONS 833a6b62-dfa4-46d1-82f8-e09e34d029d6 -ATTRIB_HIDE
```

もしくは、レジストリの以下のキーの値を編集します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Power\PowerSettings\4f971e89-eebd-4455-a8de-9e59040e7347\833a6b62-dfa4-46d1-82f8-e09e34d029d6

"Attributes"の値をDWORD:00000000に変更



もしくは、以下のコマンドをコマンドプロンプトから管理者権限で実行することでも設定可能です。

```
reg add "HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Power\PowerSettings\4f971e89-eebd-4455-a8de-9e59040e7347\833a6b62-dfa4-46d1-82f8-e09e34d029d6" /v Attributes /t REG_DWORD /d 0 /f
```

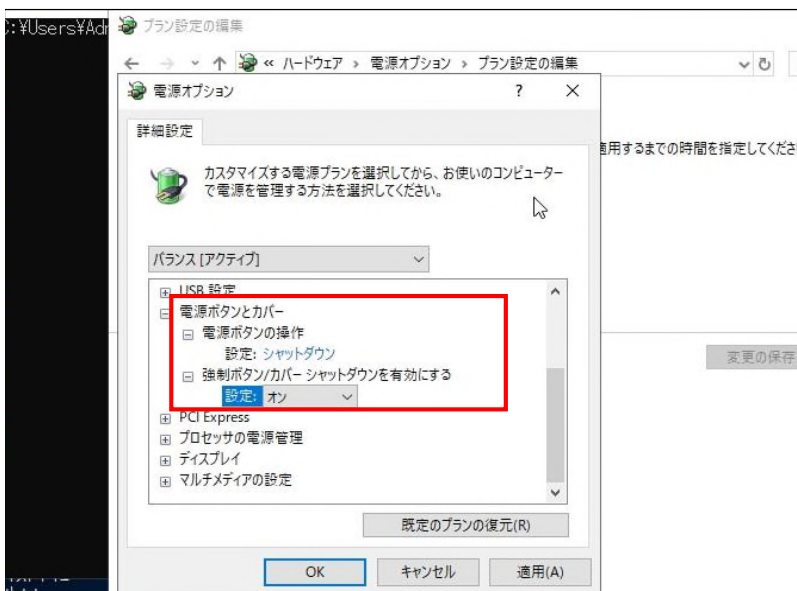
コマンド実行後、電源オプションの画面から「詳細な電源設定の変更」を開きます。

上記コマンドを実行したことによって、設定項目が追加されています。

- ・「電源ボタンとカバー」→「強制ボタン/カバーシャットダウンを有効にする」→「設定」を「オン」に変更します。
- ・「電源ボタンとカバー」→「電源ボタンの操作」→「設定」を「シャットダウン」に変更します。

これらの設定を実施することで、画面ロック時/ファイル編集時にシャットダウンを実施することが可能になります。

※シャットダウン時、作業中の保存されていない項目は、強制的に破棄されます。



6.Ubuntuについて

Ubuntuの最小構成バージョンの一部には、電源ボタンを有効にするacpidパッケージがデフォルトに含まれていません。
以下のコマンドを実行してパッケージをインストールすることで、電源ボタンを有効にできます。

sudo apt-get install acpid

デスクトップを実行しているUbuntuの場合、電源ボタンを押すと操作を選択するようデスクトップにプロンプトが表示されます。
プロンプトなしでシャットダウンできるようにするために、/etc/acpi/events/powerbtnファイルを修正します。

①/etc/acpi/events/powerbtnファイルの以下の行をコメントアウトします。

event=button[/]power
action=/etc/acpi/powerbtn.sh

②次の行を追加します。

event=button/power (PWR.||PBTN)
action==/sbin/poweroff

③次のコマンドを実行して、acpidを再起動します。

systemctl restart acpid